



2025年11月28日

各 位

会 社 名 アクシスITパートナーズ株式会社
(コード番号 351A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 坂本 哲
問合せ先 取締役 中原 貴之
T E L 0857-50-0375
U R L <https://www.t-axis.co.jp/>

(訂正)「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2025年10月15日に公表しました「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容の誤りがあり一部訂正が必要であることが判明いたしました。

2. 訂正の内容

訂正部分には下線を付しております。

決算短信及び決算短信 添付資料P3、P9及びP11の訂正となります。

〈決算短信 1 ページ〉

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年8月期	百万円 192	百万円 19	百万円 △260	百万円 1,029
2024年8月期	186	△26	△46	1,079

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年8月期	百万円 191	百万円 20	百万円 △260	百万円 1,029
2024年8月期	186	△26	△46	1,079

〈決算短信 添付資料3ページ〉

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

営業活動により獲得した資金は 192,453 千円（前連結会計年度は 186,931 千円の収入）となりました。主な増加要因は税金等調整前当期純利益 97,633 千円、減価償却費 58,654 千円、固定資産除却損 11,510 千円、賞与引当金の増加 12,412 千円、売上債権及び契約資産の減少 62,137 千円、その他の債務の増加 29,104 千円等、主な減少要因は仕入債務の減少 41,945 千円、未払消費税等の減少 20,922 千円、法人税等の支払額 33,480 千円等であります。

【訂正後】

営業活動により獲得した資金は 191,267 千円（前連結会計年度は 186,931 千円の収入）となりました。主な増加要因は税金等調整前当期純利益 97,633 千円、減価償却費 58,654 千円、固定資産除却損 11,510 千円、賞与引当金の増加 12,412 千円、売上債権及び契約資産の減少 62,137 千円、未払金の増加 26,971 千円等、主な減少要因は仕入債務の減少 41,945 千円、未払消費税等の減少 20,922 千円、法人税等の支払額 33,480 千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

投資活動により獲得した資金は 19,207 千円（前連結会計年度は 26,645 千円の支出）となりました。主な増加要因は定期預金の払戻による収入 43,220 千円等、主な減少要因は定期預金の預入による支出 6,500 千円、有形固定資産の取得による支出 7,097 千円、敷金の差入による支出 9,209 千円等であります。

【訂正後】

投資活動により獲得した資金は 20,393 千円（前連結会計年度は 26,645 千円の支出）となりました。主な増加要因は定期預金の払戻による収入 43,220 千円等、主な減少要因は定期預金の預入による支出 6,500 千円、有形固定資産の取得による支出 5,910 千円、敷金の差入による支出 9,209 千円等であります。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	93,374	97,633
減価償却費	55,749	58,654
敷金償却	5,380	7,896
固定資産除却損	218	11,510
減損損失	48,466	887
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,575	△1,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,809	12,412
修繕引当金の増減額（△は減少）	△2,566	—
移転費用引当金の増減額（△は減少）	—	2,948
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,776	7,536
補助金収入	△13,011	△1,066
雇用助成金・奨励金	△4,267	△1,301
スクラップ売却益	—	△3,097
受取利息及び受取配当金	△487	△699
支払利息	3,099	3,087
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	30,302	62,137
その他の債権の増減額（△は増加）	△12,921	△2,546
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,180	1,693
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,977	△41,945
その他の債務の増減額（△は減少）	△4,257	29,104
未払消費税等の増減額（△は減少）	20,487	△20,922
その他	147	128
小計	199,948	223,049
補助金収入	13,011	1,066
雇用助成金・奨励金の受取額	4,267	1,301
スクラップ売却による収入	—	3,097
利息及び配当金の受取額	478	703
利息の支払額	△3,099	△3,283
法人税等の支払額	△27,675	△33,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,931	192,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,000	△6,500
定期預金の払戻による収入	6,000	43,220
有形固定資産の取得による支出	△10,778	△7,097
資産除去債務の履行による支出	△3,780	—
無形固定資産の取得による支出	△13,696	△2,637
貸付金の回収による収入	1,465	1,100
敷金の差入による支出	△798	△9,209
敷金の回収による収入	3,941	331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,645	19,207

【訂正後】

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	93,374	97,633
減価償却費	55,749	58,654
敷金償却	5,380	7,896
固定資産除却損	218	11,510
減損損失	48,466	887
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,575	△1,000
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,809	12,412
移転費用引当金の増減額（△は減少）	—	2,948
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,776	7,536
補助金収入	△13,011	△1,066
雇用助成金・奨励金	△4,267	△1,301
スクラップ売却益	—	△3,097
受取利息及び受取配当金	△487	△699
支払利息	3,099	3,087
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	30,302	62,137
その他の債権の増減額（△は増加）	△12,921	△2,546
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,180	1,693
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,977	△41,945
<u>未払金の増減額（△は減少）</u>	<u>△3,281</u>	<u>26,971</u>
その他の債務の増減額（△は減少）	△3,541	946
未払消費税等の増減額（△は減少）	20,487	△20,922
その他	147	128
小計	199,948	221,862
補助金収入	13,011	1,066
雇用助成金・奨励金の受取額	4,267	1,301
スクラップ売却による収入	—	3,097
利息及び配当金の受取額	478	703
利息の支払額	△3,099	△3,283
法人税等の支払額	△27,675	△33,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,931	191,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,000	△6,500
定期預金の払戻による収入	6,000	43,220
有形固定資産の取得による支出	△10,778	△5,910
資産除去債務の履行による支出	△3,780	—
無形固定資産の取得による支出	△13,696	△2,637
貸付金の回収による収入	1,465	1,100
敷金の差入による支出	△798	△9,209
敷金の回収による収入	3,941	331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,645	20,393

〈決算短信 添付資料 11 ページ〉

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

【訂正後】

以下の内容を追加。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「未払金の増減額」、「その他の債権の増減額」、「その他の債務の増減額」、「未払消費税等の増減額」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。

また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「修繕引当金の増減額」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他の債務の増減額」に含めて表示しております。これらの表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「修繕引当金の増減額」△2,566千円、「その他」3,455千円は、「未払金の増減額」△3,281千円、「その他の債権の増減額」△12,921千円、「その他の債務の増減額」△3,541千円、「未払消費税等の増減額」20,487千円、「その他」147千円として組み替えております。

以上